

# 自治基本条例特集

町民が主役のまちづくりを目指して

[part. 13]

今月号では、条例の各項目

の具体的な検討を始めた第6

回検討委員会（4月13日）と

第7回検討委員会（4月26日）

の様子について、お知らせし

ます。

回数を重ねることに議論が

深まり、グループごとの特色

も少しずつ出てきました。

## 特に検討したい項目は

先月号で「条例の骨組み

（案）」を紹介しましたが、条

例の項目の中で特に何を検討

したいか委員の皆さんに聞い

たところ、1位 前文、2位

条例の目的、3位 町民参

画という結果になりました。

もちろんどの項目も重要で

すが、やはり「条例の柱」と

なる部分に検討したい項目が

集中しているようです。

## 分科会ワーキングがスタート

4月13日（金）

第6回検討委員会

（分科会ワーキングその1）

『東郷へのラブレター』ま

ずは「前文」あたりから?』

というテーマで、前文を中心

に検討しました。

前文とは、法令の本則の前

に置かれ、その法令制定の由

来、趣旨、基本原則、制定者

の決意などを述べるものです。

前文は自由な表現ができる

部分であるため、他市町村で

もこの部分にはそれぞれの特

徴が出ています。

東郷ならではのオリジナリ

ティが出せる部分であること

もあり、各グループで、大き

な紙にも貼り切れないほどの

意見や思いが出され、大変盛

り上がりました。

4月26日（木）

第7回検討委員会

（分科会ワーキングその2）

テーマは、竜骨（キール）

と乗組員（クルー）。

条例の柱となる基本原則や

乗組員（クルー）である町民、

事業者、議会、町長、職員の役

割や責務などを検討しました。

基本原則は、東郷らしい自

治を実現するために最も大切

にすべき大きな柱（基本的な

考え方）を掲げるもの。前文

と同様にたくさん意見や思

いがあふれました。

また、乗組員（クルー）の

役割や責務では、まちづくり

において誰がどんなことをす

べきか、それぞれの立場を考

え、さまざまな角度から検討

を進めていました。

## 前文の検討で出された 主なキーワード

緑が豊か、穏やか（まち・人柄）、ポートのまち、  
明るいまち、住み続けたいまち、愛着（誇り）  
を持って元気に暮らせる、いきいきと安心  
して暮らせる、町民一人ひとりがまち  
づくりにかかわれる、帰ってきたく  
なるまち、人と人とのつながり（絆）、  
住民参画と協働、新しい発想力、町  
民が主役の自治の実現、東郷町の最  
高規範、自治の道しるべ、未来へと  
つなげる、役割分担の明確化 など  
（詳しくは、町ホームページをご覧  
ください）

## ▼問い合わせ

企画情報課 TEL 0561 (38) 3111  
(内線 2324)

